

社会・文化

経済

政治

WORLD

連載

- 10 世界のキーパーソン
11 国内人事情報
27 Book Reviewing Globe
40 広告を裏読みする
42 大往生考
51 西風
59 交差点——読者の声・編集者の声



なぜ13年もの間、理事長専横が許されたのか。有力族議員、警察庁、警視庁はじめ霞が関OB、メディアからの「天下り」を受け入れ、様々便宜をバラまいたから。監視する側を共犯にする狡猾な危機管理だ。(110頁)

- 108 日本大学「危機管理学部」
106 富士山は大丈夫なのか
104 スパイ・ゾルゲは「凡庸」だった——機密文書公開で判明した「真相」
102 燃津港「ガツオ窃盗」の深奥——漁師を長年欺く大掛かりな犯罪
100 コロナ「空気感染」をどう防ぐか——海外最新研究が薦める対処法
98 社会・文化●情報力アピール
96 をんな千一夜——石井妙子
88 皇室の風——岩井克巳
90 日本の科学アラカルト
92 新・大学評判記
94 本に遇う——河谷史夫
114 マスコミ業界ばなし

■なぜかアジアで感染拡大せず
■日本のサンクチュアリ●シリーズ 568
■なぜかアジアで感染拡大せず
■オミクロン株「脅威論」の虚と実
——「田中独裁」と
■政官・メディアの癪着

- 84 日本製薬業界「コロナ完敗」の一年
■「創業先進国」にはもう戻れない
80 電気料金「高騰」は経産省の罪
■電力自由化が国民に強いいる「苦役」
78 連載〈地方金融の研究〉名古屋銀行——競合三行の統合で「好機」到来
74 経済●情報力アピール
72 トヨタの遅すぎた「EV宣言」——米GM衰退の足跡とそっくり
67 連載〈クローズアップ〉
64 出光を再び悩ます「創業家」
■株主還元「最優先」で縮まる寿命
60 「岸田相場」に翻弄される一年——政策迷走で市場に広がる凶兆
62 世界物流で日本が「孤島」となる日——国家盛衰を分ける供給網「再構築」

■「創業先進国」にはもう戻れない
■問われる企業統治「崩壊」の責任

理事長一派が肥やした私腹の元は、学生と親が払った学費や国からの補助金=納税者の血税。事業部は利権の増幅装置としてフル回転した。大学の異常な肥大化が一因であり、敵罰と規模の縮小は不可避だ。(68頁)



- 68 連載〈企業研究〉日本大学事業部
■田中一味の黒い宝箱
72 トヨタの遅すぎた「EV宣言」——米GM衰退の足跡とそっくり
74 連載〈クローズアップ〉
78 連載〈地方金融の研究〉名古屋銀行——競合三行の統合で「好機」到来
80 電気料金「高騰」は経産省の罪
■電力自由化が国民に強いいる「苦役」
82 みずほ「社外取締役」は無罪なのか——問われる企業統治「崩壊」の責任
84 日本製薬業界「コロナ完敗」の一年
■「創業先進国」にはもう戻れない
86 富士山は大丈夫なのか
■なぜかアジアで感染拡大せず
■日本のサンクチュアリ●シリーズ 568
110 日本大学「危機管理学部」
■なぜかアジアで感染拡大せず
■オミクロン株「脅威論」の虚と実
——「田中独裁」と
■政官・メディアの癪着



病氣で辞めた元総理が、表に出まくる前代未聞。それは岸田への苛立ちと焦りの裏返しだ。岸田は巧妙かつ大胆に「安倍・菅時代」からの脱却を図る。前任者らの高まる怨念が、与党各所に波乱の芽を生む。(48頁)

- 48 岸田と安倍の冷たい断層
■政治●情報力アピール
■秋篠宮家の失業が生んだ待望論
52 連載〈政界スキャン〉政界の宿痺「人材払底」を考える
54 台湾有事に何の備えもない日本
■邦人救出の計画策定され進まず
■公明党こそ「政治停滞」の主犯——自民党「創価学会依存」で続く悪弊
56 連載〈罪深きはこの官僚〉
藤井健志(内閣官房副長官補)——観光「バラマキ予算」をゴリ押し

2022.1 選択

- 38 連載〈現代史の言霊〉月の逮捕——グッチ暗殺事件(一九九七年)
■対中包囲網「突破」を狙う戦略
14 ウクライナは戦争にはならない
■米露交渉で終始優位のプーチン
16 「欧洲中心主義」の危うい台頭——寛容・協調から「排他・独善」に変容
18 WORLD●情報力アピール
22 米IT業界を制覇するインド出身者——人材大国が生む秀才CEOが続々
24 イスラエル「スペイ産業」の獰猛
■世界の要人のスマホも「丸裸」に
28 マカオ「カジノ摘発」で狙う獲物——習近平の肅正は新局面へ
30 「台湾孤立」を狙う中国の外交戦——「断交ラッシュ」に怯える蔡英文
32 韓国「中国傾斜」への憂慮——大統領選で「保守」勝利でも
34 習近平「デジタル強国化」の脅威
■対中包囲網「突破」を狙う戦略

早々「死に体」となりゆくバイデン。欧州やアジアで力の外交ができることを、中国とロシアはあざ笑う。地政学的な勢力図の書き換えを狙う強権国家に、自由主義陣営はどう対処するか。策は少ない。(6頁)



●特別リポート

3 連載〈巻頭インタビュー〉スコット・W・ハロルド——「日米技術同盟」で中国に対抗せよ

6 非力さ増すアメリカ

——中露同盟が世界を荒らす一年

- 12 トランプが企てる次のクーデター

■「選挙管理」の暗闘が全米で進行

- 16 「欧洲中心主義」の危うい台頭——寛容・協調から「排他・独善」に変容

- 18 WORLD●情報力アピール

- 22 米IT業界を制覇するインド出身者——人材大国が生む秀才CEOが続々

- 24 イスラエル「スペイ産業」の獰猛

- 世界の要人のスマホも「丸裸」に

- 28 マカオ「カジノ摘発」で狙う獲物——習近平の肅正は新局面へ

- 30 「台湾孤立」を狙う中国の外交戦——「断交ラッシュ」に怯える蔡英文

- 32 韓国「中国傾斜」への憂慮——大統領選で「保守」勝利でも

- 34 習近平「デジタル強国化」の脅威

- 対中包囲網「突破」を狙う戦略

- 38 連載〈現代史の言霊〉月の逮捕——グッチ暗殺事件(一九九七年)